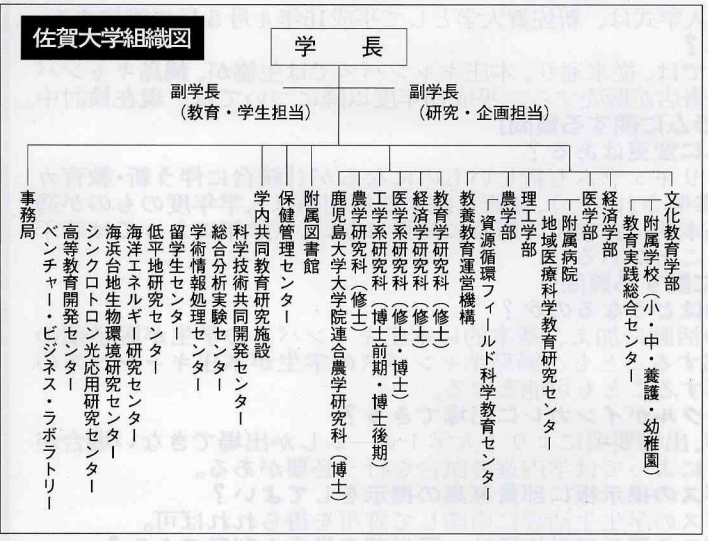


新生 佐賀大学



第10号
2003年12月発行
佐賀大学医学部
〒849-8501
佐賀市鍋島5丁目1番1号
http://www.med.saga-u.ac.jp/
新聞編集委員会
連絡先
kurokiy@post.saga-med.ac.jp
印刷/榊昭和堂



長谷川学長 インタビュー

●新しい佐賀大学の学長になられての抱負を聞かせてください。

21世紀というのは学問体系が再編されていく時代になると言われています。例えば現在、生命やエネルギー、環境問題などの解明や研究が社会から強く要求されています。しかしながらこれらの分野を包括的に扱う「生命科学」とも言うべき学問体系は今のところ確立して

いませんので、将来的にそうした学問を作り上げていくことが必要だと私は考えています。今後は従来の学問のうち、あるものは分離し、またあるものは融合していくことにより、新しい学問に再編されていく、そうした時代に突入し始めていると思います。ですから佐賀大学でも、学問の再編や統合が非常に重要な課題となりつつあります。手始めに1つのテーマをいくつかの学部で共同して研究を進めていくというのはいかがでしょうか。理工学部で扱う自然科学や物理学は基礎医学



向井医学部長 インタビュー

●佐賀大学との統合についての先生のお考えを聞かせてください。

佐賀大学と統合することによって、教育と研究の可能性が大いに拡大したということは紛れもない事実です。また、ニューパラダイム(新しい領域)が広がる可能性もあります。教育の中で一番のメリットは教養教育の選択科目が50教科くらい増えることで選択が飛躍的に拡大し、豊かな教養教育が実現すると思います。

●医学部長になられて、今後どのような医学部にしていきたいですか。

医学部は、社会の要請に応えるべき医師・看護師の育成、医学看護

●佐賀大学の学生に向けて一言お願いします。

医学部の学生は国家試験を受けたり、医療従事者になるための技術を磨いたりしてはならない。医学部の方々は医学のみならず様々な分野に貪欲かつ大胆に、そして意欲的に取り組んでほしいと考えています。20世紀はアトム・サイエンスの時代と言われていました。21世紀はライフ・サイエンスの時代と言われています。これから医学部の占める位置は重要になってくると思います。医学部は生命を扱うから特別の学部だと思わず、あらゆる分野に広がっているということを考えて今後とも幅広く学習を行ってほしいと思います。

●医学部をどのようにしていきたいですか？

医学部は理学・工学・教育学など全ての分野の

●医学部の学生に向けて一言お願いします。

医学部の学生は国家試験を受けたり、医療従事者になるための技術を磨いたりしてはならない。医学部の方々は医学のみならず様々な分野に貪欲かつ大胆に、そして意欲的に取り組んでほしいと考えています。20世紀はアトム・サイエンスの時代と言われていました。21世紀はライフ・サイエンスの時代と言われています。これから医学部の占める位置は重要になってくると思います。医学部は生命を扱うから特別の学部だと思わず、あらゆる分野に広がっているということを考えて今後とも幅広く学習を行ってほしいと思います。

●医学部の学生に向けて一言お願いします。

医学部の学生は国家試験を受けたり、医療従事者になるための技術を磨いたりしてはならない。医学部の方々は医学のみならず様々な分野に貪欲かつ大胆に、そして意欲的に取り組んでほしいと考えています。20世紀はアトム・サイエンスの時代と言われていました。21世紀はライフ・サイエンスの時代と言われています。これから医学部の占める位置は重要になってくると思います。医学部は生命を扱うから特別の学部だと思わず、あらゆる分野に広がっているということを考えて今後とも幅広く学習を行ってほしいと思います。



十時病院長 インタビュー

●病院長としての抱負を聞かせて下さい。

大学附属病院の役割としてまず一つ目は、佐賀県の中核病院として質の高い医療を提供することです。開業医の先生の所から紹介される3次救急も含めて、救急医療の充実を図りたいと考えています。二つ目は優れた医療従事者の育成です。三つ目は臨床医学発展のための研究です。新しい治療、高度な治療の開発を、医学に貢献する必要があります。新しいことをやるうとすれば、医療事故などのリスクが高まることにもなりますので、常に安全な医療を提供できるように断続的な研究が必要です。研究に関しては、

●理想の病院像をお聞かせください。

患者さんが安心してかかる病院が理想です。そのために赤ひげ先生的な良い医師を育てたいです。他の大学とは違う、佐賀大学医学部附属病院独自の理想の病院というのがあるはず。もともと佐賀医大は地域医療の向上に寄与することを重視していたので、それをさらに推し進め、「いつも優しく診てくれる、何かあればこの病院に」と患者さんに選ばれる病院にしたいです。信頼される

●医学部の学生に向けて一言お願いします。

国立大学なので、国民の税金で勉強しているという自覚を持つてほしいです。期待されているという自覚です。卒業研修制度が変わり、マッチングにより学生は学生時代の成績を病院に評価されるようになります。単位をとるだけでは駄目で、学生は良い医者になるための努力が必要になります。何となく6年間過ぎたというのでは駄目なです。どこで卒業研修を受けるかが大切になりますので、研修したい病院で研修するために、学生時代には遊ぶのも良いけれどしっかり勉強もすることが大切です。医師過剰と言われる時代になっていきます。これは厳しくなるといっても過言ではありません。当然あるべき姿になるとの考え方があります。医者になりたいたい人が医者にな

●理想の病院像をお聞かせください。

患者さんが安心してかかる病院が理想です。そのために赤ひげ先生的な良い医師を育てたいです。他の大学とは違う、佐賀大学医学部附属病院独自の理想の病院というのがあるはず。もともと佐賀医大は地域医療の向上に寄与することを重視していたので、それをさらに推し進め、「いつも優しく診てくれる、何かあればこの病院に」と患者さんに選ばれる病院にしたいです。信頼される

●理想の病院像をお聞かせください。

患者さんが安心してかかる病院が理想です。そのために赤ひげ先生的な良い医師を育てたいです。他の大学とは違う、佐賀大学医学部附属病院独自の理想の病院というのがあるはず。もともと佐賀医大は地域医療の向上に寄与することを重視していたので、それをさらに推し進め、「いつも優しく診てくれる、何かあればこの病院に」と患者さんに選ばれる病院にしたいです。信頼される

●理想の病院像をお聞かせください。

患者さんが安心してかかる病院が理想です。そのために赤ひげ先生的な良い医師を育てたいです。他の大学とは違う、佐賀大学医学部附属病院独自の理想の病院というのがあるはず。もともと佐賀医大は地域医療の向上に寄与することを重視していたので、それをさらに推し進め、「いつも優しく診てくれる、何かあればこの病院に」と患者さんに選ばれる病院にしたいです。信頼される

て、全国で初めて本学に設置されました。

●医学部の学生に向けて一言お願いします。

人生は一度しかないのだから、本心に自分のやりたいことを信念と目標を持って行って欲しいと思います。皆さんの力があれば必ず達成できると信じて。また、医療人として生涯学習を続け、普段から絶え間ない努力を誠実に実行して欲しいと思います。

以上。
(河田・齊郷)

どう変わる? 『佐賀大学医学部』

佐賀大学と佐賀医科大学の統合に関するQ&A (総務学事課(学務系)配布 資料を一部改変し転載)

【学生の身分・学費・施設に関する質問】

- Q 学生の身分はどうか?
A 平成15年9月30日に両大学に在学する学生は、平成16年3月31日まではそれぞれ元の大学の学生の身分を有する。平成16年4月1日以降は、法人化した佐賀大学の学生の身分を得る。
- Q 学生証は?
A 現在所有している学生証は、平成16年3月31日まで有効。4月1日以降は、全学生に新しい学生証を配布する予定。
- Q 授業料は?
A 今回の統合に伴う授業料の変更はないが、平成16年4月1日以降については、未定。
- Q 図書館の利用は?
A 本庄キャンパスの図書館も利用可能となる。それに伴って、図書館カードが両館共通のものに変更されるので、各自図書館にて更新を行うこと。両図書館の利用概略については、学生センターのWeb pageを参照のこと。
- Q 保健管理センターの利用は?
A 定期健康診断は今迄通り鍋島キャンパスにて行うが、それ以外の保健管理センターの利用は、両キャンパスとも可能。カウンセリングも、本庄・鍋島キャンパスのいずれも利用できる(予約制)。
- Q 生協の利用は?
A 本庄キャンパスの生協は、全学生が利用可能。
- Q 学生寮への入寮はできる?
A 楠葉寮(元佐賀大学学生寮)への入寮は、平成15年10月から全学生が対象となるので、空室が生じた場合に医学部生も含めて入寮希望者を募集する。
- Q 学位記授与式・卒業式・入学式は?
A 平成15年度の学位記授与式・卒業式は、平成16年3月24日に旧佐賀大学、25日に旧佐賀医科大学として実施する。尚、今年度卒業生までは「佐賀医科大学卒」となる。

- 平成16年度の入学式は、新佐賀大学として平成16年4月5日に実施する。
- Q 教科書販売は?
A 本年度後期までは、従来通り、本庄キャンパスでは生協が、鍋島キャンパスでは紀伊国屋書店が販売する。平成16年度以降については、現在検討中。
- 【授業・カリキュラムに関する質問】
- Q カリキュラムに変更はある?
A 新大学ではカリキュラムも新しいものになるが(『統合に伴う新・教育カリキュラム』を参照されたし)、履修に関する規則類は入学年度のもの適用されるので基本的に在学生の履修に変更はない。(学年によっては若干の変更が生じることがある。)
- 【課外活動・行事に関する質問】
- Q サークル活動はどうか?
A 今まで通りの活動に加え、基本的に本庄キャンパスの学生が医学部のサークルに入部することも、鍋島キャンパスの学生が本庄キャンパスのサークルに入部することも可能となる。
- Q 医学部のサークルがインカレに出場できる?
A 参加できるが、出場要項により1大学1チームしか出場できない場合があるので、種目によっては学内選考試合を行う必要がある。
- Q 本庄キャンパスの掲示板に部員募集の掲示をしてよい?
A 本庄キャンパスの学生生活課に申請して許可を得られれば可。
- Q 本庄キャンパスの課外活動施設は、医学部の学生も利用できる?
A 利用可。詳しくは、本庄キャンパス学生生活課に問い合わせの上、許可を受けること。
- Q 大学祭は?
A 本年度は、従来どおり開催。平成16年度以降については、現在検討中。
- Q 通学定期の証明・学割の発行や、授業料免除・奨学金に関する窓口はどうか?
A 医学部生は、従来通り鍋島キャンパス事務にて行う。

(藤井可)

授業日程の変更点

| 現行 | 平成16年度 |
|----------------------|---|
| 1) 春季休業 3/21~4/10 | 4/1~4/7 (入学式) 4/5, 授業開始4/8) |
| 2) 夏季休業 7/21~9/10 | 8/1~9/10 医学部学生の各季休業については、上記の予定表によらないことがある。 |
| 3) 授業時間割 | 1校時 |
| 1・2時限 | 8:40-10:10 |
| 8:50-10:20 | 2校時 |
| 3・4時限 | 10:20-11:50 |
| 10:30-12:00 | 3校時 |
| 5・6時限 | 12:50-14:20 |
| 13:00-14:30 | 4校時 |
| 7・8時限 | 14:30-16:00 |
| 14:40-16:10 | |

統合に伴う新・教育カリキュラム

来年度入学の新入生から旧佐賀大学と旧佐賀医科大学の統合に伴う新しい教育カリキュラムが医学科・看護学科ともに適用される。今年度入学までの在学生は現行の教育カリキュラムが卒業まで適用される。

●1年生の講義は鍋島キャンパスと本庄キャンパスの両方で

●医学科...1年生の講義は月・火・金が鍋島キャンパス、水木が本庄キャンパスにて行われる。2年生からは専門科目が始まるので、基本的には鍋島キャンパスでの講義・実習となる予定である。

●看護学科...1年生の前期・後期、2・3年生の前期、4年生の後期は水曜日の講義が本庄キャンパスとなる。それ以外の講義・実習は鍋島キャンパスにて行われる。

●本庄キャンパスへは大学の無料直通バスで鍋島キャンパスと本庄キャンパスの間には朝・昼・夕と大学の無料直通バスが運行される予定である。詳細については検討中。

●主眼科目とは?
教養教育科目の一環として、教員が担当する様々な分野の授業科目を学生が選択して受講するという全学部共通の「主眼科目」が開講される。この制度では各学生が自分の学部の枠を越えて、興味のある授業を履修することができる。鍋島キャンパスでも11科目が開講される予定であり、本庄キャンパスの学生も受講のために鍋島キャンパスへ来る事が可能になる。なお、医学科・看護学科1年次は、主眼科目を本庄キャンパスにおいて履修することになる。

例：医学科1年生・前期(試案)

| キャンパス | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------|------|-------|-------|-------|-------|
| 鍋島 | 鍋島 | 本庄 | 本庄 | 鍋島 | 鍋島 |
| 1校時 | 医療数学 | 医療心理学 | 主眼科目 | 主眼科目 | |
| 2校時 | 情報処理 | 英語A | 主眼科目 | 第2外国語 | 英語A |
| 3校時 | 基礎 | 基礎 | 第2外国語 | | 医療福祉学 |
| 4校時 | 生命科学 | 生命科学 | | | 医療入門I |

例：看護学科1年生・前期

| キャンパス | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------|-------------|----------|-------|----------|-------------|
| 鍋島 | 鍋島 | 本庄 | 鍋島 | 鍋島 | 鍋島 |
| 1校時 | | 英語A | 主眼科目 | 人間学I | 微生物学 |
| 2校時 | 保健学 | 看護学入門 | 主眼科目 | 英語A | リハビリテーション概論 |
| 3校時 | プレゼンテーション技法 | 人体の構造・機能 | 第2外国語 | 人体の構造・機能 | 情報基礎概論 |
| 4校時 | 看護統計学 | 機能 | 第2外国語 | 機能 | 社会福祉 |

○看護学科：主な変更点

1. 自主学習時間の確保と総履修単位の削減
学生の自主性・自律性が育つように、できるだけ自己学習時間を確保。学習内容の重複を極力無くし、卒業要件単位数を「133単位以上」から「128単位以上」へ削減した。
2. コア・カリキュラム化
学習要綱、国家試験出題基準、看護学教育のあり方検討会報告、等からコア項目を抽出・整理して、必修の授業科目のコア・カリキュラムを構成した。
3. 教養科目の充実
主眼科目を導入。教養科目の単位数を25単位から32単位に拡大。
4. 選択科目の充実
選択科目の履修単位数を「5単位」から「8単位」に拡大。選択できる授業科目も37単位と豊富に揃え、従来のように履修の枠を設けず、その中から各自が自由に選択できるように設定した。

○看護学科：新教育カリキュラム 概要

| 区分 | 内容 | 必修単位 | 選択単位 |
|--------|--------|---------------------------|-------|
| 教養教育科目 | 大学入門科目 | 看護学入門 | 2 |
| | 共通基礎科目 | 英語A・B 第2外国語I 情報基礎概論 | 10以上 |
| | 主眼科目 | | 20以上 |
| 合計 | | 32以上 | |
| 専門教育科目 | 専門基礎科目 | 省 略 | 29 |
| | 看護専門科目 | 省 略 | 59 |
| 合計 | | 88 | 8以上 |
| 卒業要件 | 総単位数 | 128以上 | 120以上 |
| | | | 8以上 |

●現行カリキュラムと新カリキュラムの対比

○医学科：主な変更点

1. 臨床実習のコア・カリキュラム化
※来年度履修者(現在4年生)より導入
全科ローテーション方式から「コア・カリキュラム実習方式」へ。内科、外科、小児科・産科などの「コア診療科」の実習期間が長くなる一方で、それ以外の科(眼科・脳外科・整形外科など9診療科)は5年生の臨床実習から外れ、6年生のとき「臨床選択実習」として設定されることになる。
2. 単位制の導入
「時間数」で換算していた専門教育科目の履修要件を、来年度から「単位数」で換算。講義は15~30時間で1単位、実験・実習は30~45時間で1単位。
3. 自然科学系一般教育科目の再編
数学は「統計学」となり、物理・化学・生物は個別の単位が廃止されて「基礎生命科学」という1つの単位に集約される。
4. 第2外国語の選択拡充
朝鮮語が第2外国語に加わり、医学科・看護学科ともに、ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語から選択できるようになる。
5. 選択科目の再編
6年次に開講されていた「選択コース」の一部が、2年生から履修できるようになる。また、新たに医学英語が新設される予定の他、今まで単位として認められなかった学外研修やボランティア体験が、内容により選択科目の「単位」として認められるようになる。なお、6年次にコア診療科以外の診療科(9科)から選択して実習する「臨床選択実習」はこの単位に含まれる。

○医学科：新教育カリキュラム 概要

1. 教養教育科目(37単位) ()内は単位数
医療入門I(4)、第1外国語(6)、第2外国語(4)、情報処理科目(3)、主眼科目10科目(0)
 2. 専門基礎科目(14単位) ()内は単位数
医療人間学(1)、医療心理学(1)、医療社会法制(1)、生活医療福祉学I(1)・II(1)、医療入門II(2)・III(2)、医療数学=統計学(1)、基礎生命科学(2)、同実験(2)
 3. 専門科目(115単位) 内容：略
 4. 選択科目(22単位) 内容：略
- 総計 188単位 (大学設置基準に準ずる)

●教養教育科目では原則的に再試験無し
旧佐賀大学(本庄キャンパス)では、現在に至るまで再試験制度が存在していないので、統合を機に医学部の学生も原則的に教養教育科目における再試験が廃止される。

※新・教育カリキュラム記事の作成に当たっては以下の先生方に御協力いただきました。
医学科長 増子 貞彦 教授
生体構造機能学講座 井上 範江 教授
看護学科長 井上 範江 教授
看護基礎科学講座

以上。(小松)